

流通BMS導入事例紹介

コープきんき事業連合

本日のアジェンダ

1. コープきんきの紹介
2. 流通BMS導入の経過
3. 導入システムの概要
4. 導入作業と課題
5. 効果
6. 今後の課題
7. まとめ



1. コープきんき事業連合の紹介

1-1. コープきんきとは？

コープ
しが

京都
生協

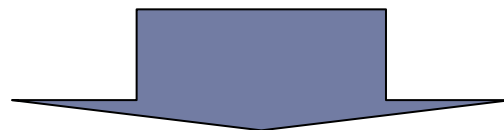
なら
コープ

パル
コープ

よどがわ
市民生協

いずみ
市民生協

わかやま
市民生協



2003年 7月23日設立

コープきんき事業連合



7つの生協を会員とする生活協同組合の事業連合法人です。

<http://www.kinki.coop/>

1. コープきんき事業連合の紹介

1-2. 事業内容

設立趣意書(抜粋)

「コープきんき事業連合」は次のことをすすめます。

- ◆ まとまりを力に、商品の低価格化を実現します。
- ◆ 日本生協連と協力して、組合員の願いに応えるコープ商品の開発を進めます。
- ◆ より優れた商品の品質保証や基準づくりを進めます。
- ◆ 物流やコンピューターシステムの連帯で、事業の効率化を進めます。
- ◆ 共同購入や個配事業、店舗事業での連帯を進め、事業の発展に寄与します。

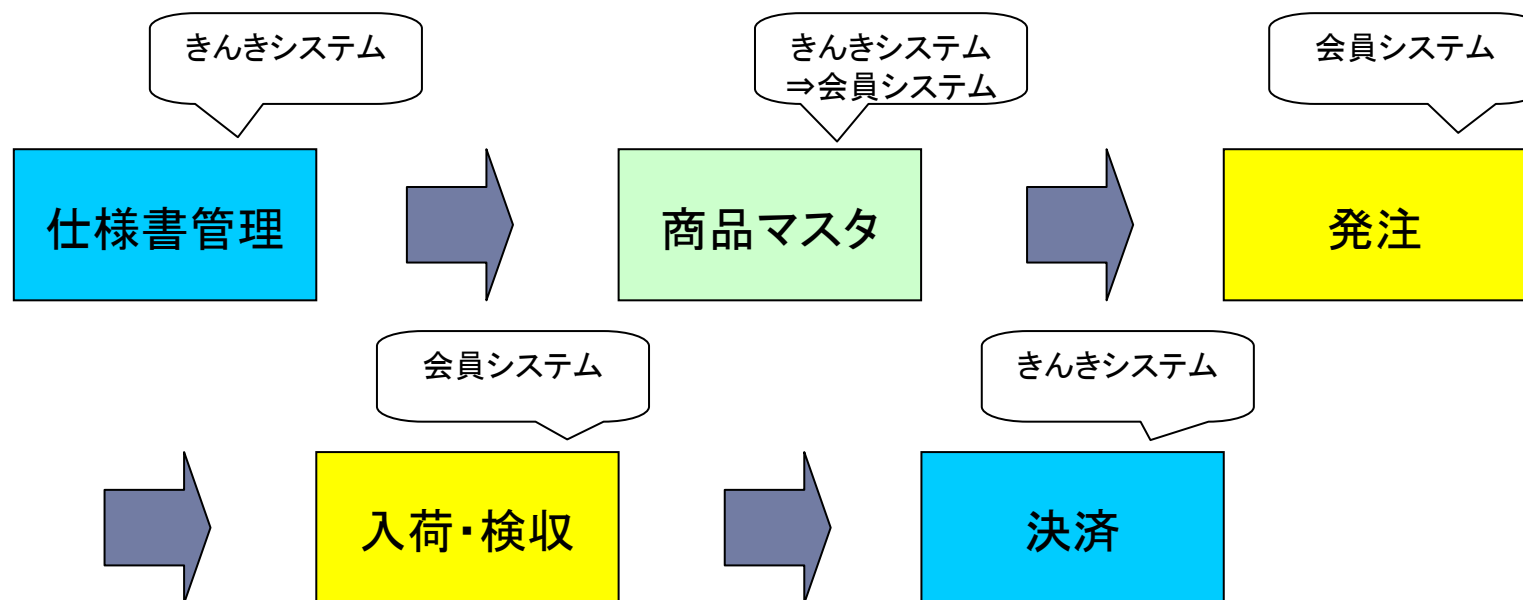
組合員の、暮らしのお手伝いや生協事業経営への貢献を目指しています。

利用しやすい売り場を実現します。

無店舗事業			店舗事業
チラシ	食品	非食品	加工食品・菓子部門のみ
インターネット			

2. 流通BMS導入いたる背景

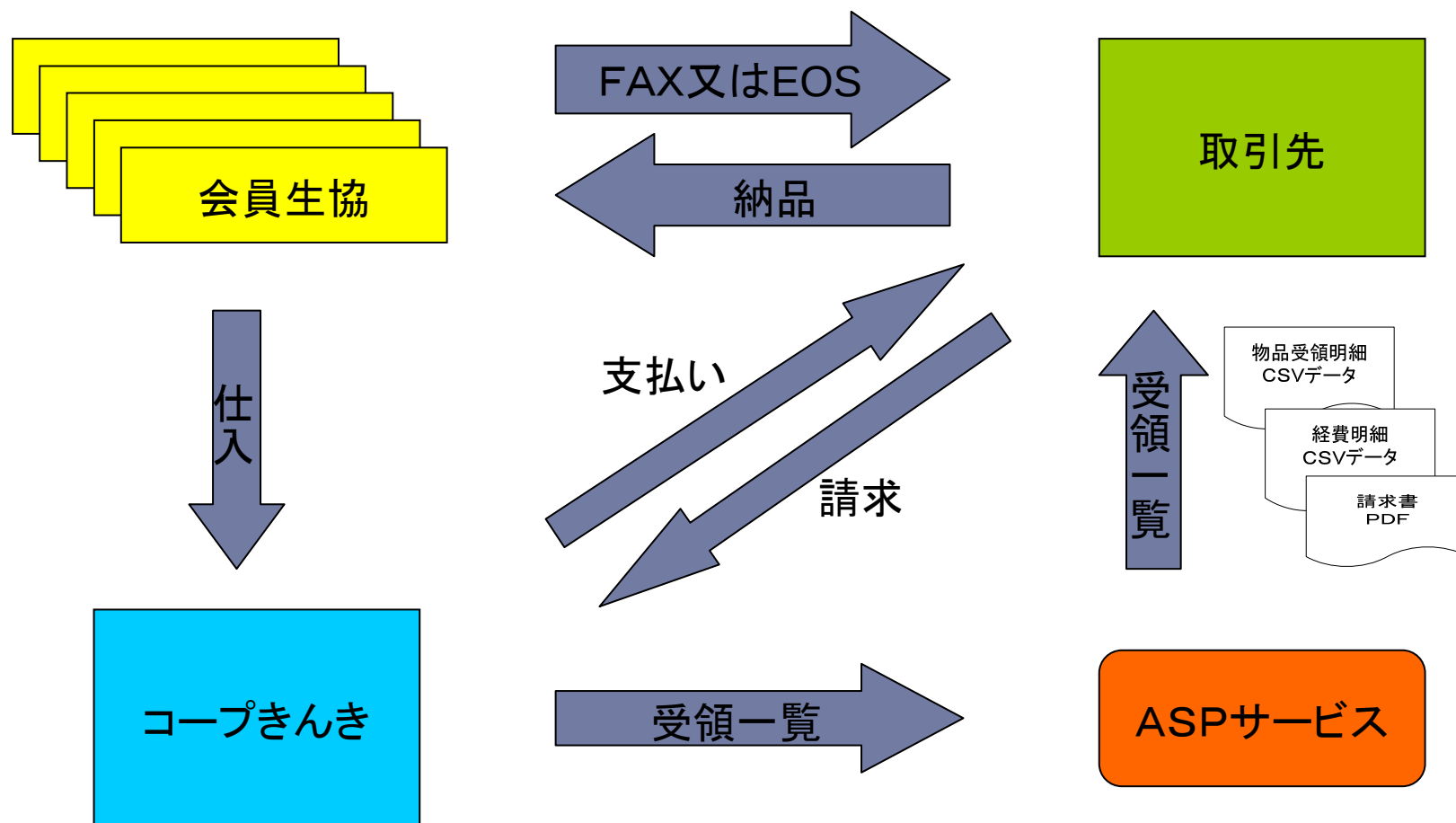
2-1. システム概要(2008年度到達点)



コープきんきは、仕様書管理～商品マスタ作成の一本化・決済の一本化、
受発注・物流は従来どうりの会員生協のシステムを活用

2. 流通BMS導入にいたる背景

2-1. システム概要(2008年度到達点)



2.流通BMS導入にいたる背景

2-2. 受発注・物流に関する問題点

1

会員生協ごとに運用ルールが異なる。

2

会員生協ごとにシステムが異なる。

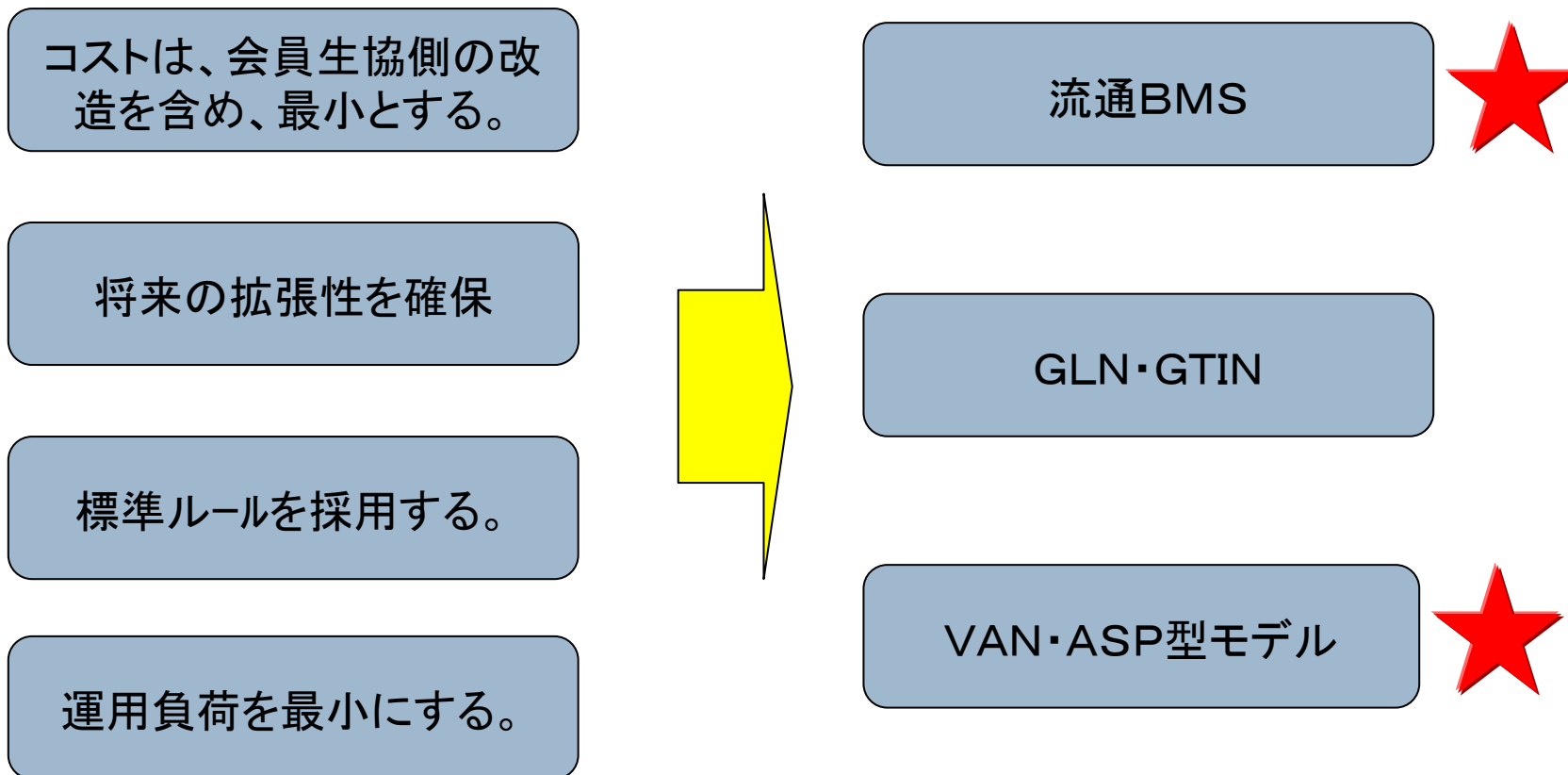
3

会員生協ごとに重複作業が発生している。

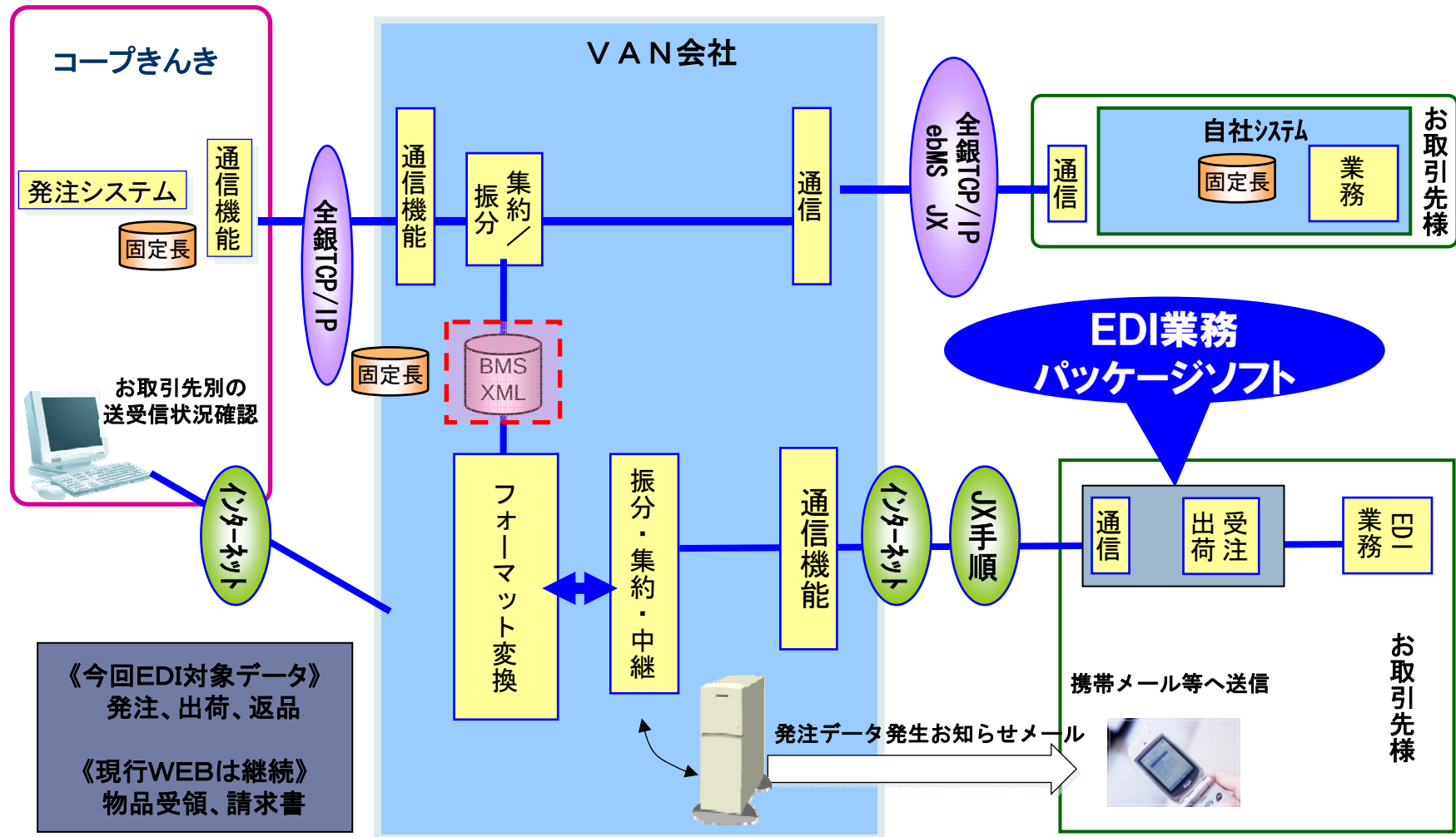
これまでと
同じ

2.流通BMS導入いたる背景

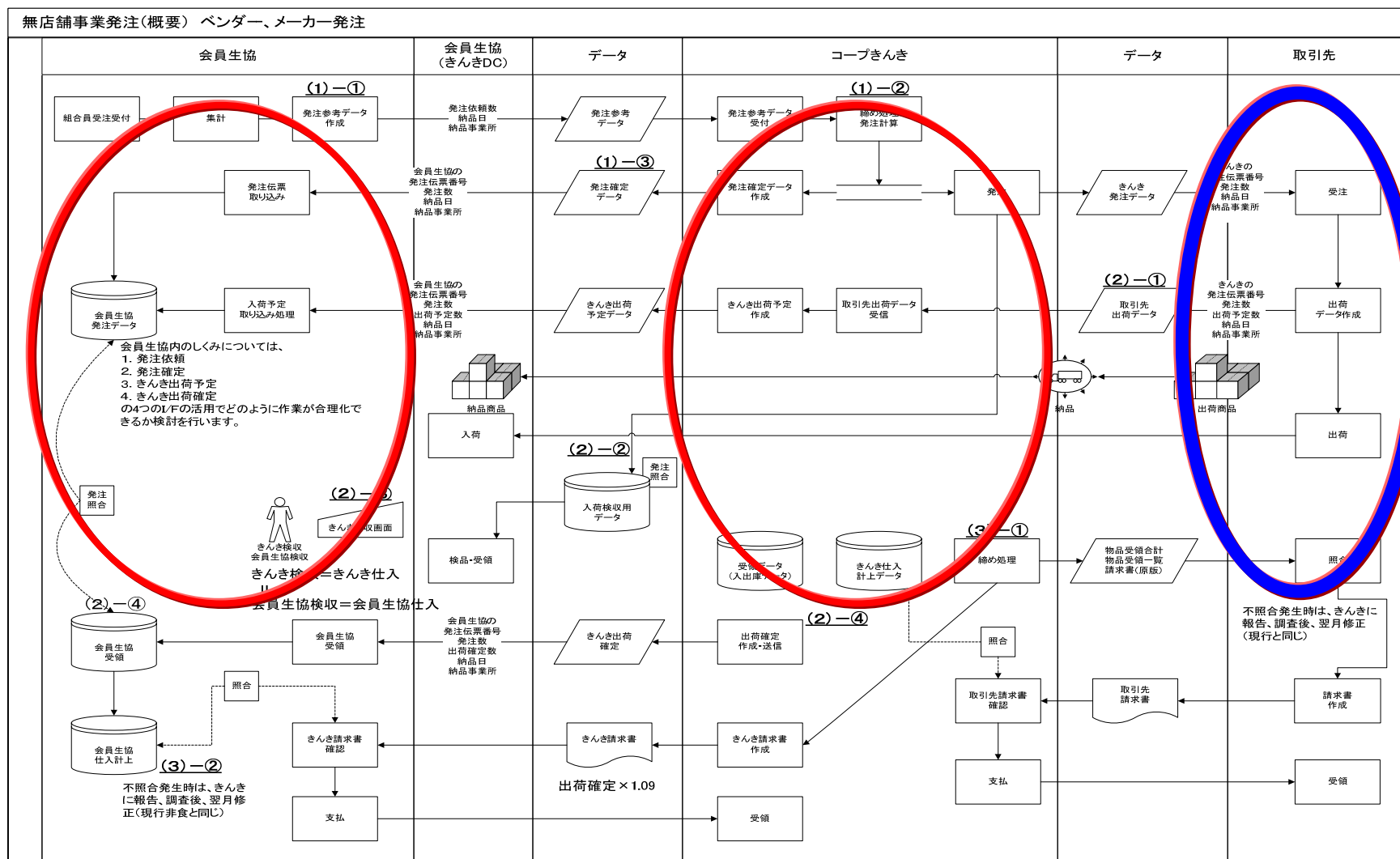
2-3. 基本的なスタンス



3.導入システム概要



3.導入システム概要



4.導入作業と課題

- ▶ 流通BMS導入の手順を参考に検討をすすめました。

導入検討

- ・ 流通BMSの適用判断
 - ・ マッピング作業
 - ・ 投資対効果算出
 - ・ 概算見積もり
- ※VANサービスの
検討・比較

システム形態の選定

- ・ システム形態の選択
 - ・ 処理モデルの選択
 - ・ プロトコルの選択
 - ・ マッピング作業
 - ・ 見積作業
- ※VANサービス決定

取引先企業への サービス内容検討

- ・ 運用ルールの一

システム構築

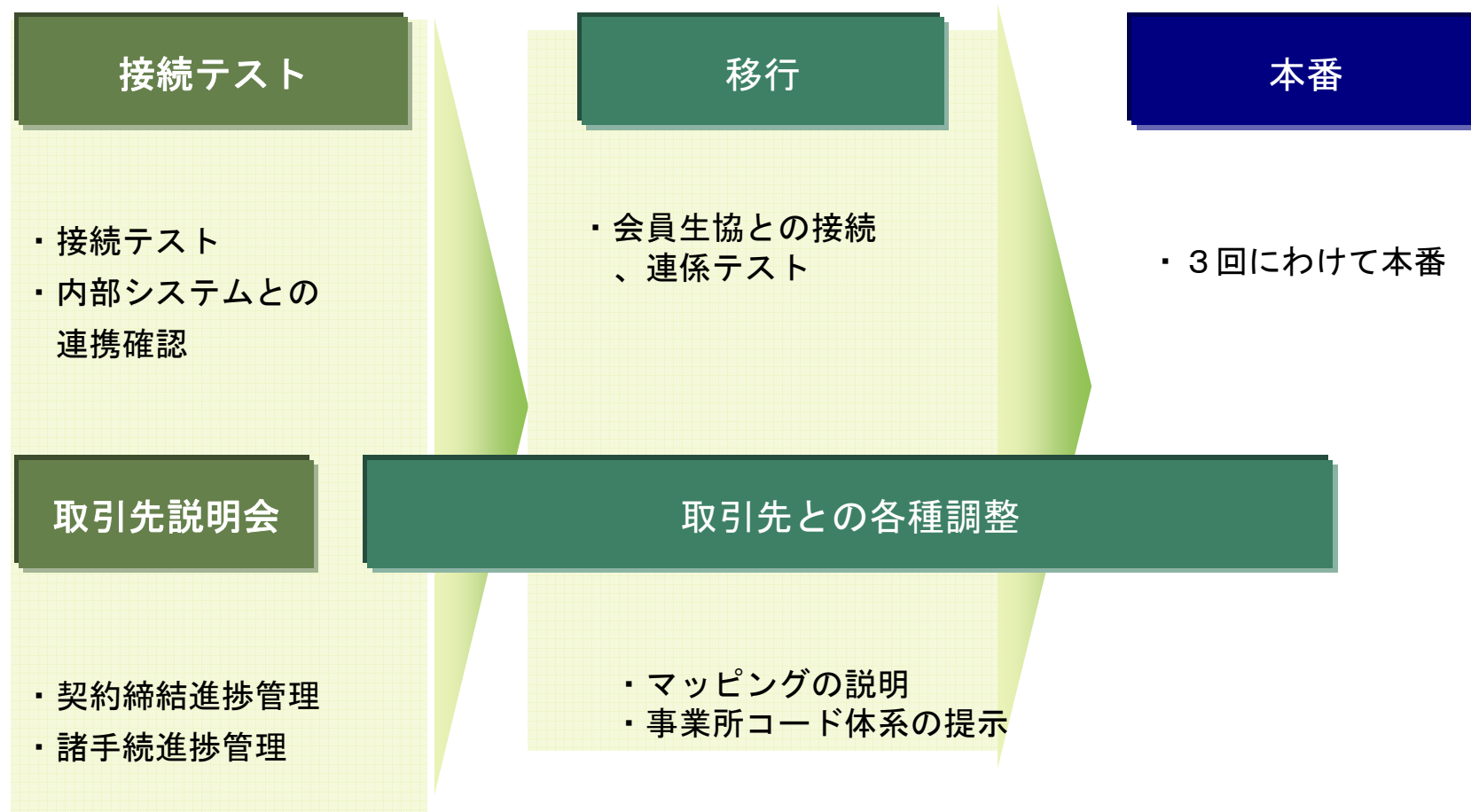
- ・ GLNの取得
- ・ 電子証明書の取得
- ・ ネットワーク構築

取引先説明会

- ・ 運用ルール説明
- ・ 契約書関連の説明
- ・ マッピングシート送付

4.導入作業と課題

- ▶ 流通BMS導入の手順を参考に検討をすすめました。



4.導入作業と課題

▶ 導入の期間

1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月
導入検討	要件定義	基本設計 ・取引先 調整	詳細設計 ネットワーク	EDI開発・構築・テスト		取引先との業務運用確認⇒本番				
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月

取引先説明会

取引先説明会
マッピング送付

取引先説明会
運用ルール

本番移行

手順申し込み

接続テスト

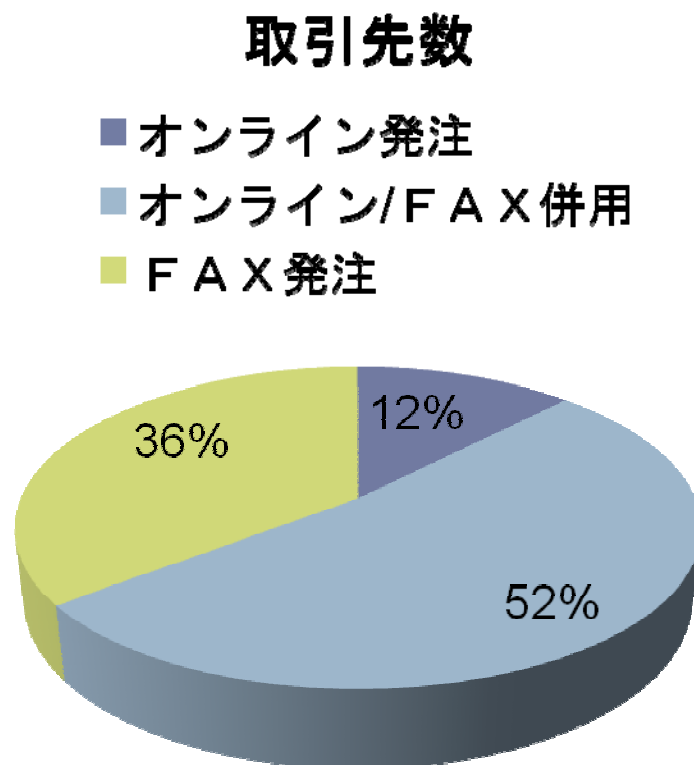
アンケート

操作説明

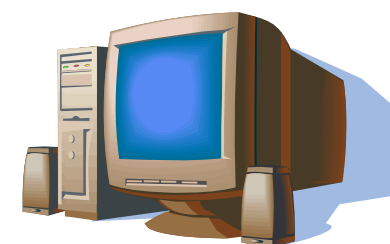
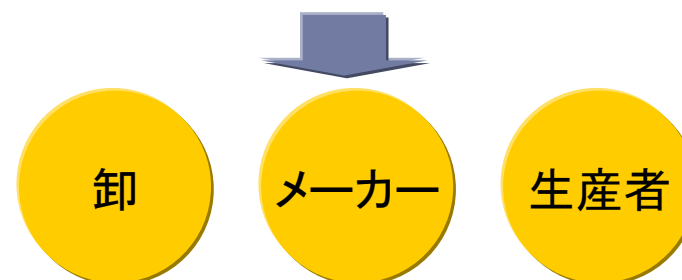
契約

4.導入作業と課題

4-1.取引先の実態(現状の受注方法)

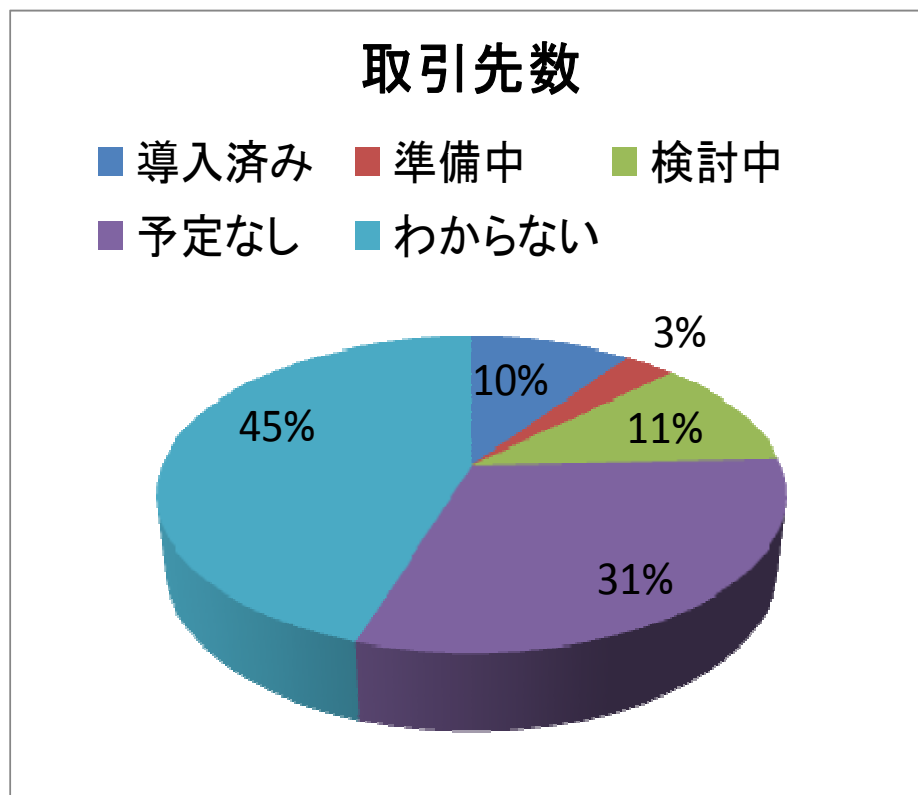


お取引先様



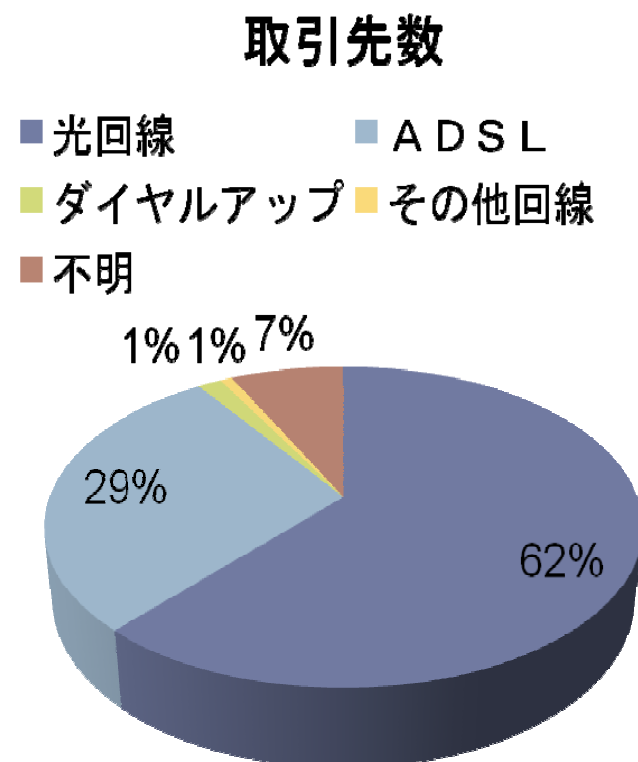
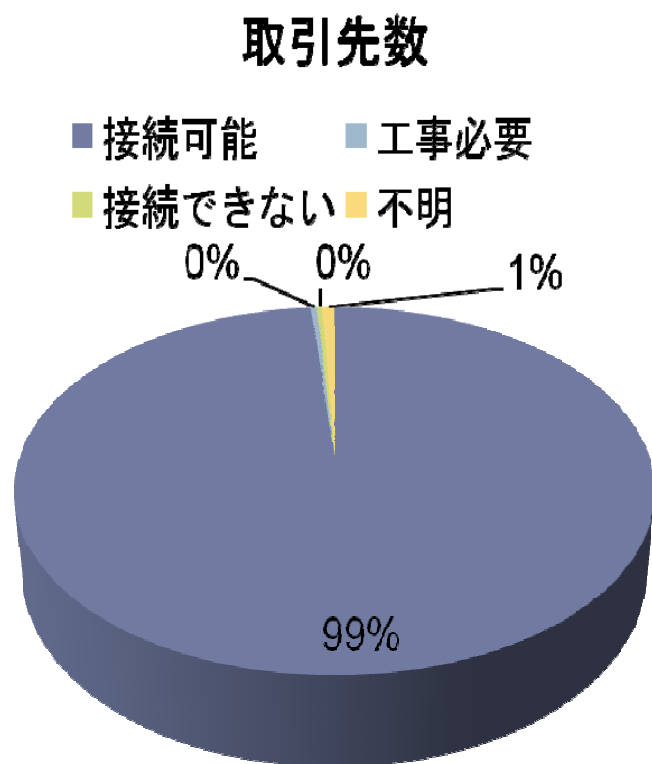
4.導入作業と課題

4-1.取引先の実態（流通BMSについて）



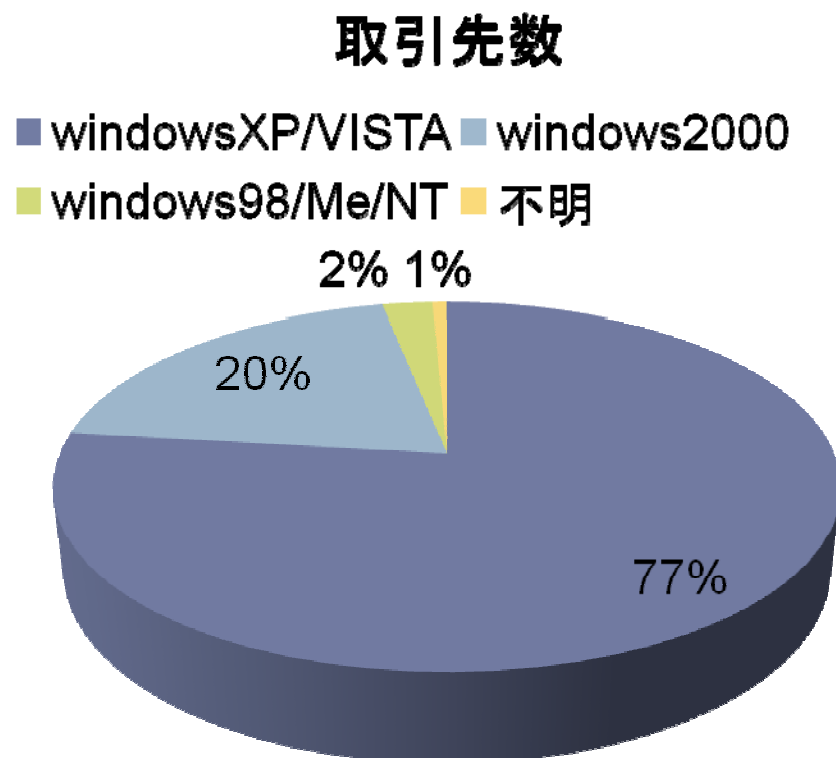
4.導入作業と課題

4-1.取引先の実態（インターネット接続環境）



4.導入作業と課題

4-1.取引先の実態(利用されているPCのOS)

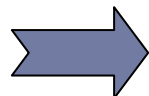


4.導入作業と課題

4-2.手順の統一(1)

お互いの
メリットをどう出すか

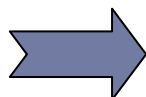
従来からEOSで対応いただいているお取引先様への対応



基本、流通BMSでの対応を依頼する。

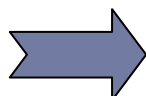


従来の手順はどう扱うのか？(JCA手順は)



× JCA手順 採用しない

従来の手順はどう扱うか？(全銀手順は)



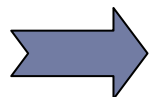
○ 全銀TCP/IP

× 全銀ベーシック

4.導入システム概要

4-2. 手順の統一(2)

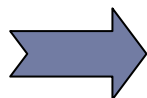
従来からFAXのみで受注いただいているお取引先様への対応



基本、流通BMSでの対応を依頼する。



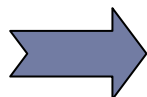
FAX発注は残すのか？



× 無店舗食品の発注では残さない。

結局、導入コストが
問題。

どうやって、流通BMSを採用していただくのか？



JX手順ソフトの紹介(販売)

JX手順ソフトの貸し出し(レンタル)

流通BMS
(WEB)(標準化発表
前)断念

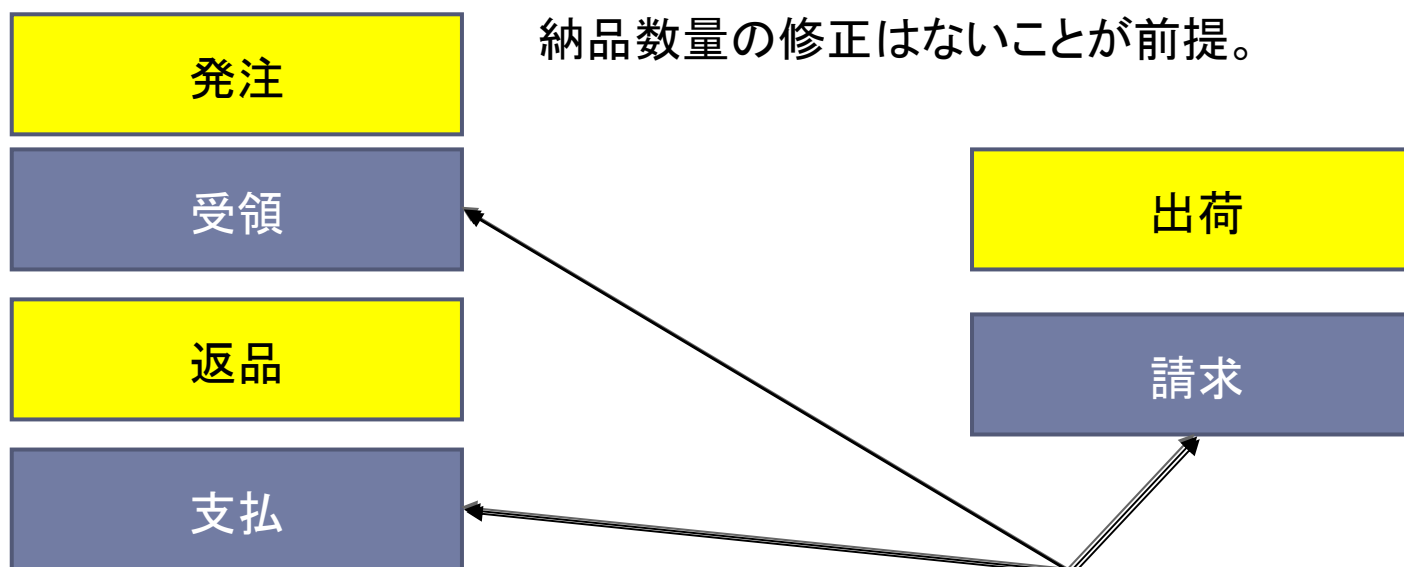
4.導入システム概要

4-3. 導入範囲

流通BMSの導入範囲をどうするのか？

無店舗食品のデータ特性を踏まえて判断する。

伝票枚数少なく、伝票1枚あたりの仕入金額が大きい。
納品数量の修正はないことが前提。



現在、利用しているWEB型のASPサービス
(仕入・経費)を利用中

4.導入システム概要

4-4. 流通BMS採用の投資対効果

比較項目	既存環境	流通BMS	備考
通信費用			既存利用
ハード費用			VAN会社の利用
ソフト費用			VAN会社及びソフト紹介
標準化によるシステム設計・工数削減			手順の制限
維持保守費用の削減			手順の制限
伝票レスによる処理費用削減			FAX発注をなくす
物流効率化による効果			運用の統一

4.導入作業と課題

4-5. マッピング時に留意した点

基本にどうあわせるか

1. 無店舗事業ではあっても、店舗用語をそのまま活用しました。
2. コードリストも、追加せず、標準のままで利用しました。将来、店舗で利用する

全銀TCP/IP対応

1. 全銀用フォーマットも「きんき」⇒「VAN会社」の1パターンのみにした。

伝票変更対応の工夫

1. 取引付属番号、及び取引明細付属番号に、取引番号、取引明細番号をセットした。

4. 導入作業と課題

4-6. 流通BMSを身近に感じていただく工夫

取引先説明会

1. アンケート結果の報告
2. 流通BMSで行うことのメリットを報告
3. 現場の方には、手順でなくソフトの操作性、なれを強調

ソフトウェア操作説明会

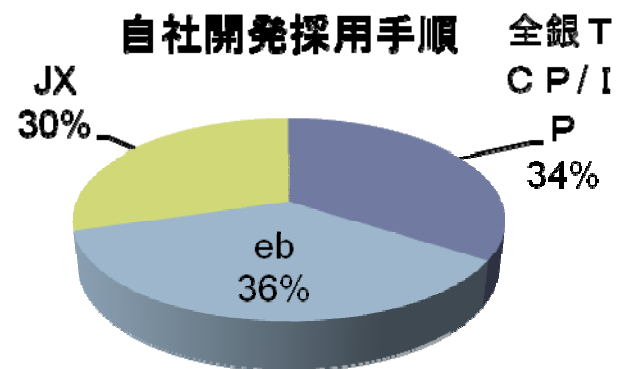
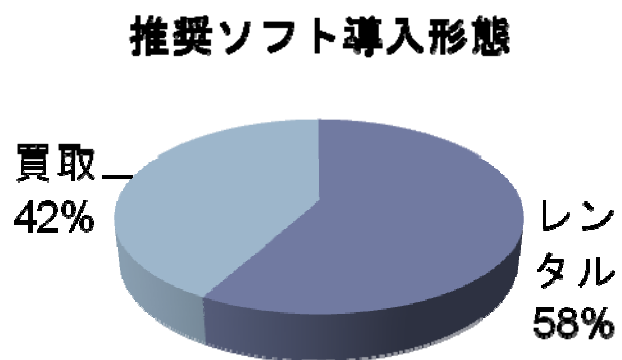
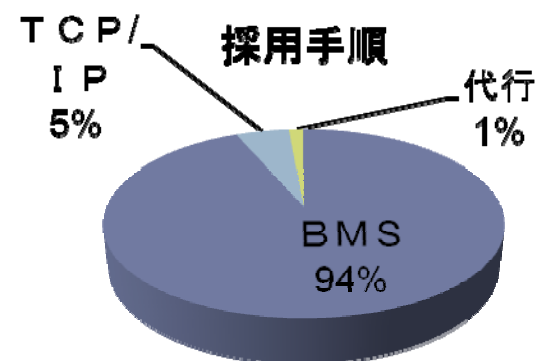
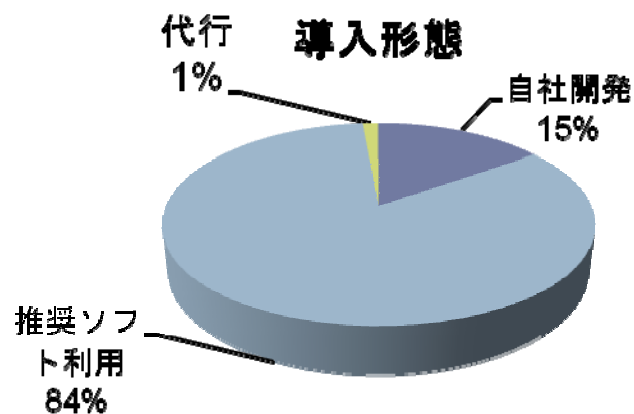
1. 取引先説明会とは別に、ソフトの操作を中心とした説明会を実施（小規模）
のべ 21回 約 120 社 参加

動画マニュアルWEBサイト

1. ソフトウェアの操作について、動画でわかりやすく説明

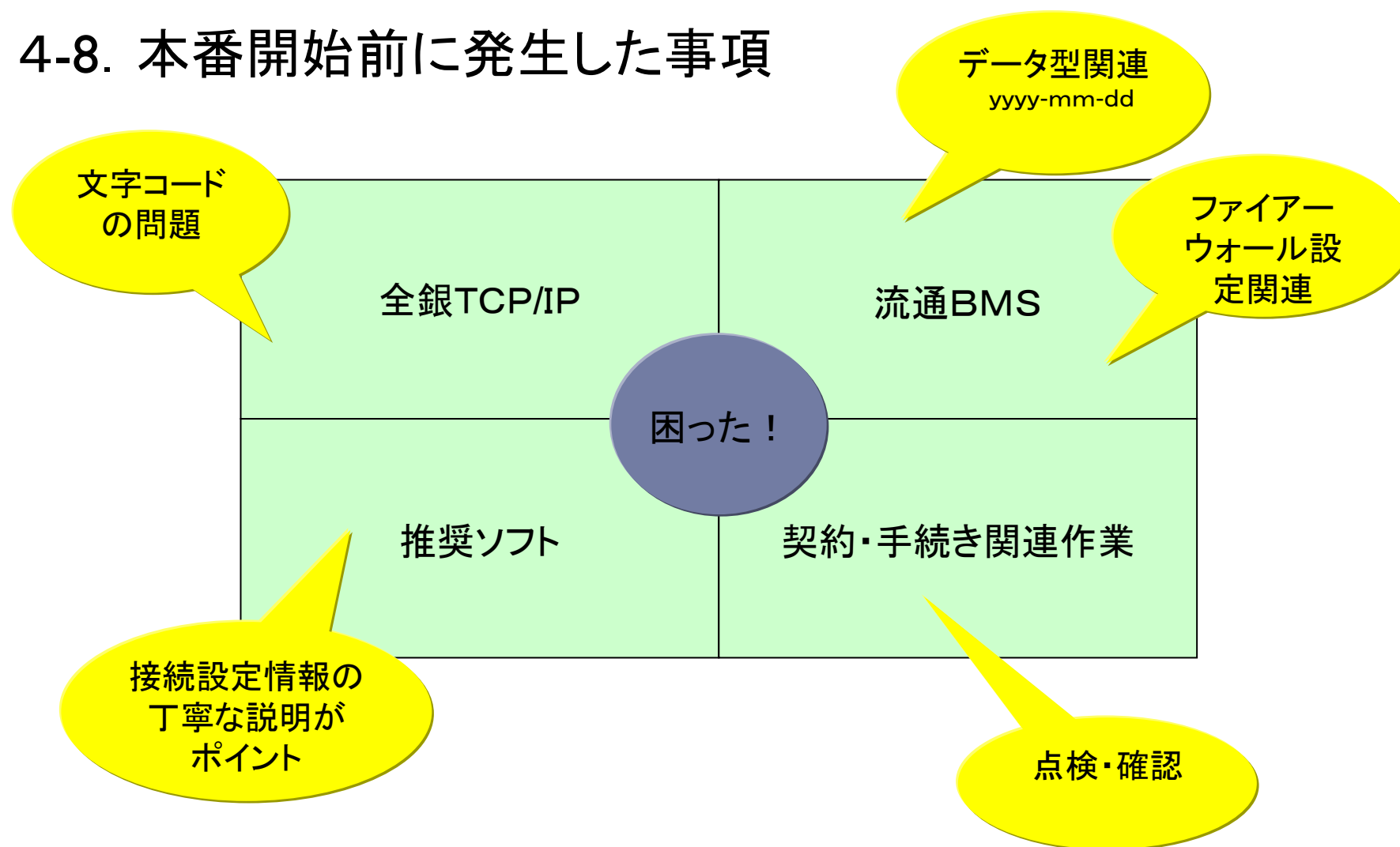
4.導入作業と課題

4-7.今回の導入



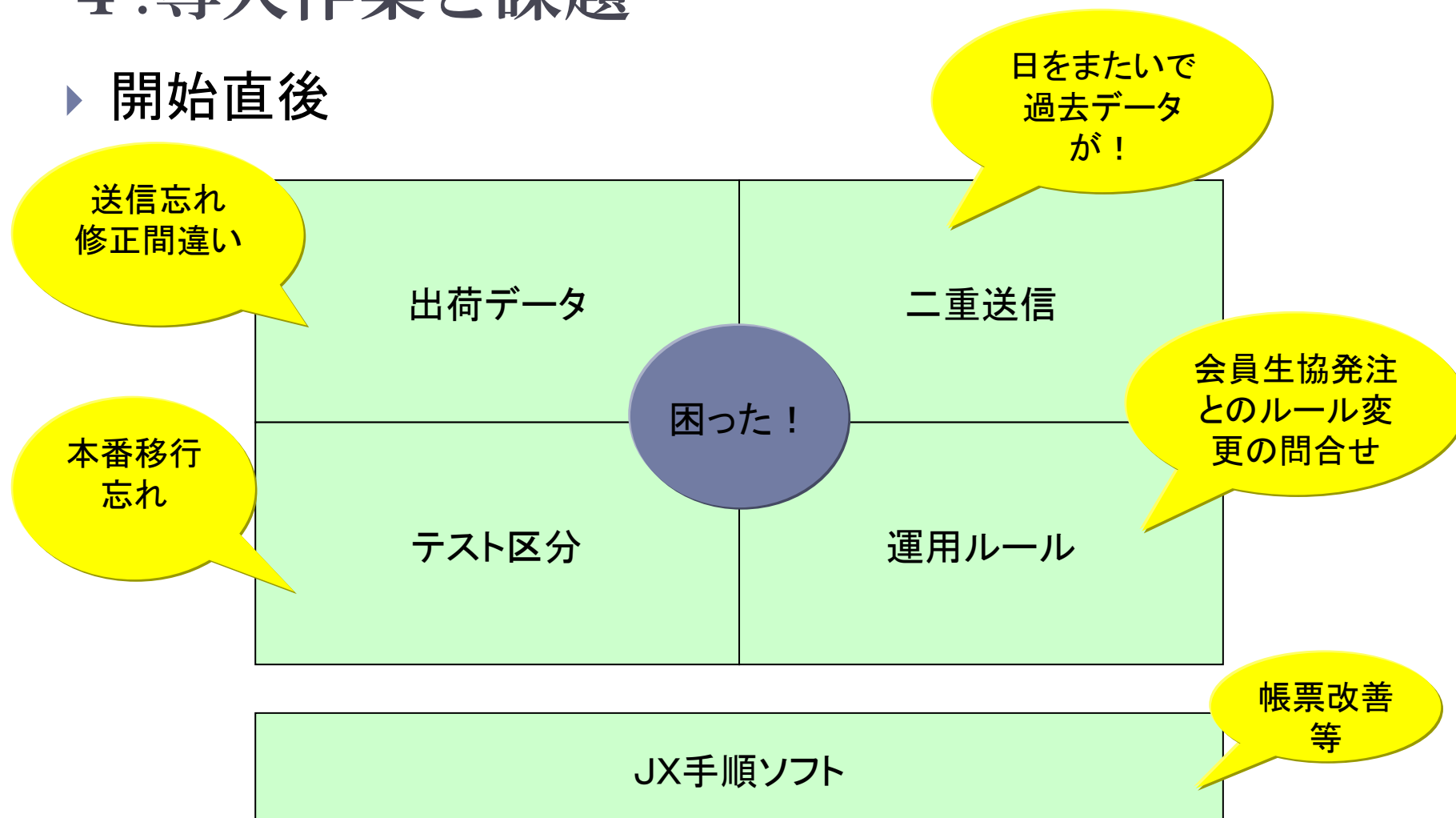
4.導入作業と課題

4-8. 本番開始前に発生した事項



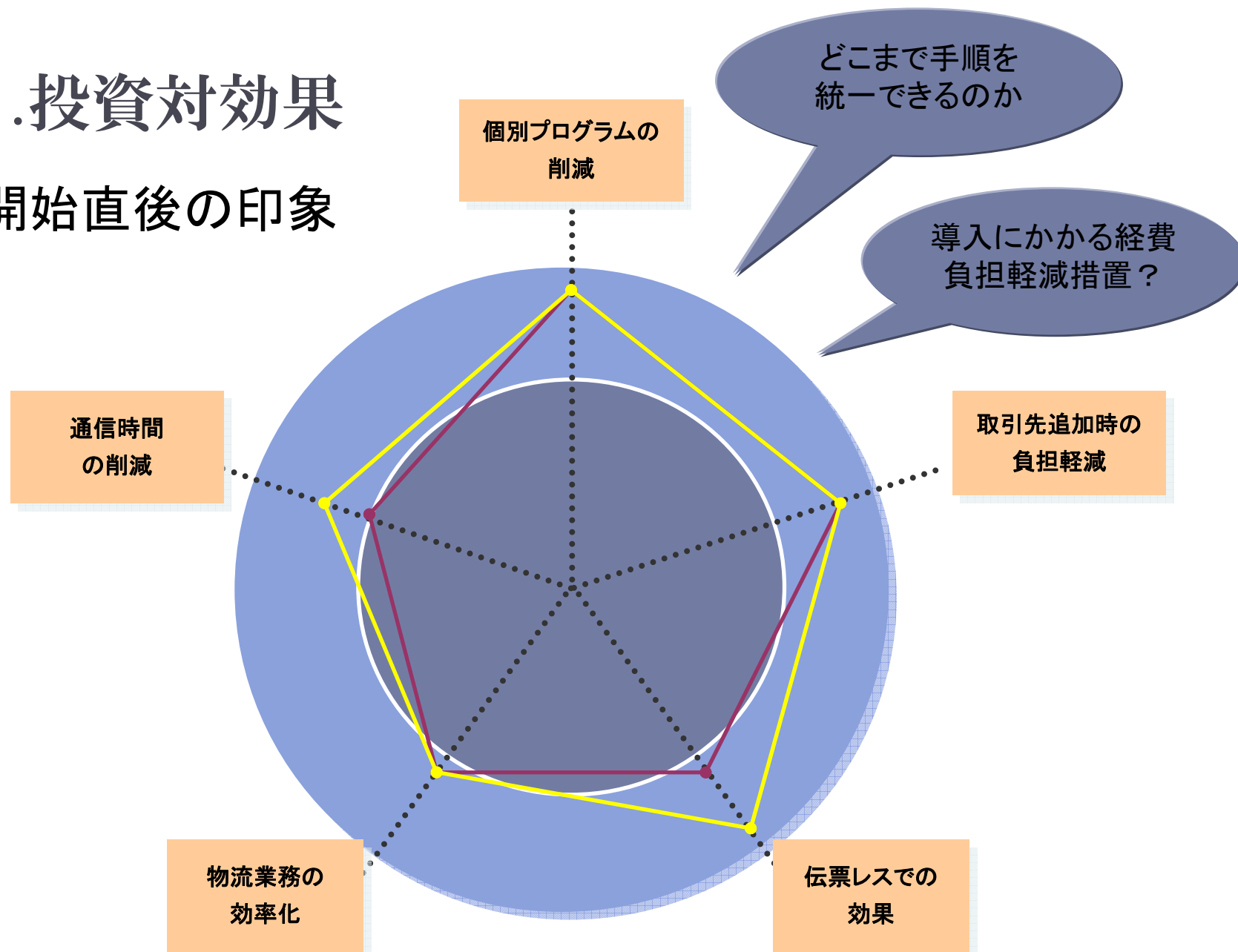
4.導入作業と課題

▶ 開始直後



5.投資対効果

▶ 開始直後の印象



5.投資対効果

▶ 通信速度について

1) 実測値

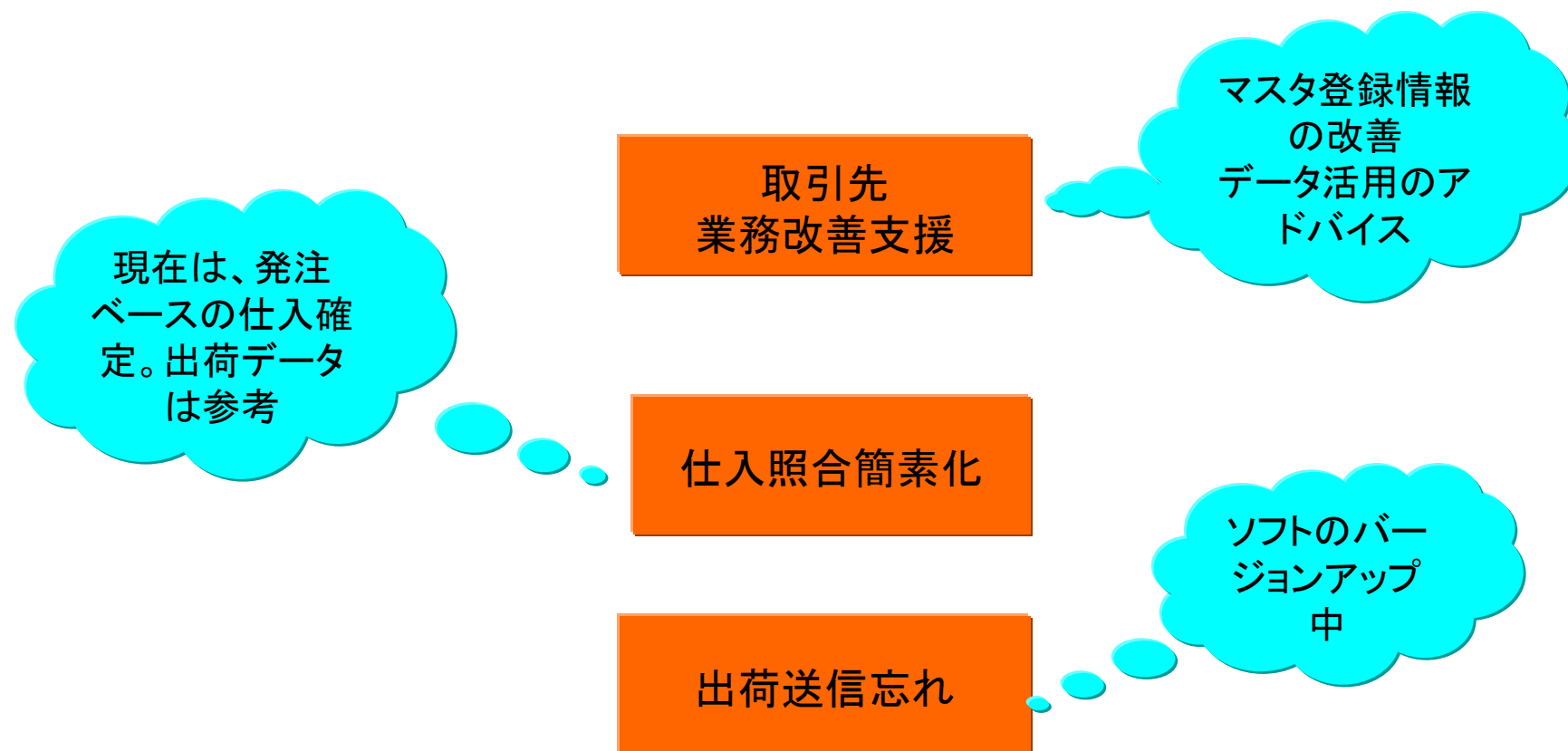
全銀TCPIP	6秒/132件
eb	9秒/129件
jx	3秒/125件
JCA	204秒/934件

2) (想定値)

全銀TCPIP	45.4秒/1000件
eb	69.75秒/1000件
jx	24秒/1000件
JCA	218秒/1000件

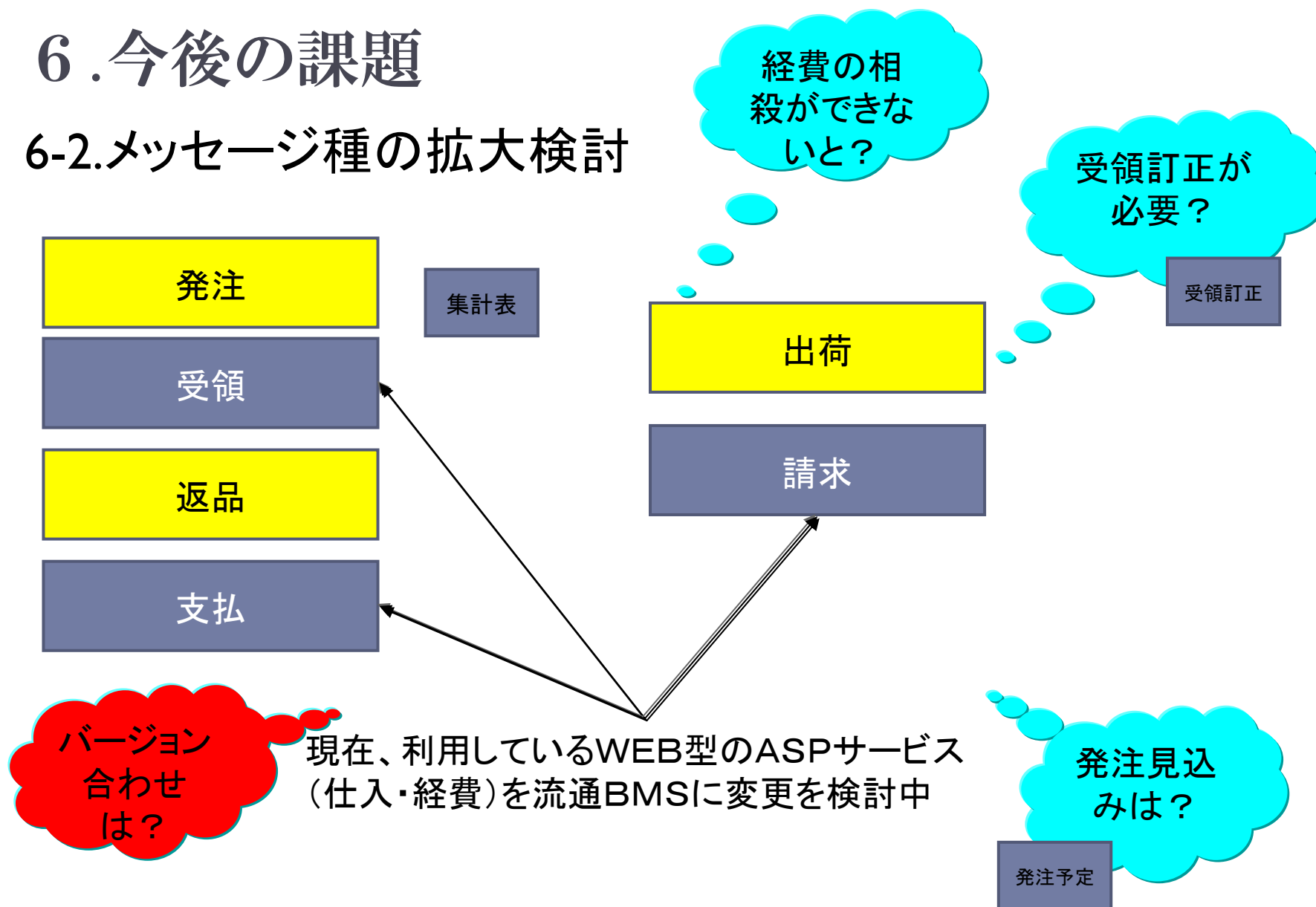
6. 今後の課題

6-1. 運用の安定化



6. 今後の課題

6-2. メッセージ種の拡大検討

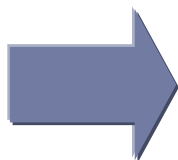


6. 今後の課題

6-3. 適用範囲の検討

現在の対象

無店舗
(きんき仕入)



無店舗
(きんき仕入)

無店舗
(会員生協仕入)

店舗
(きんき仕入)

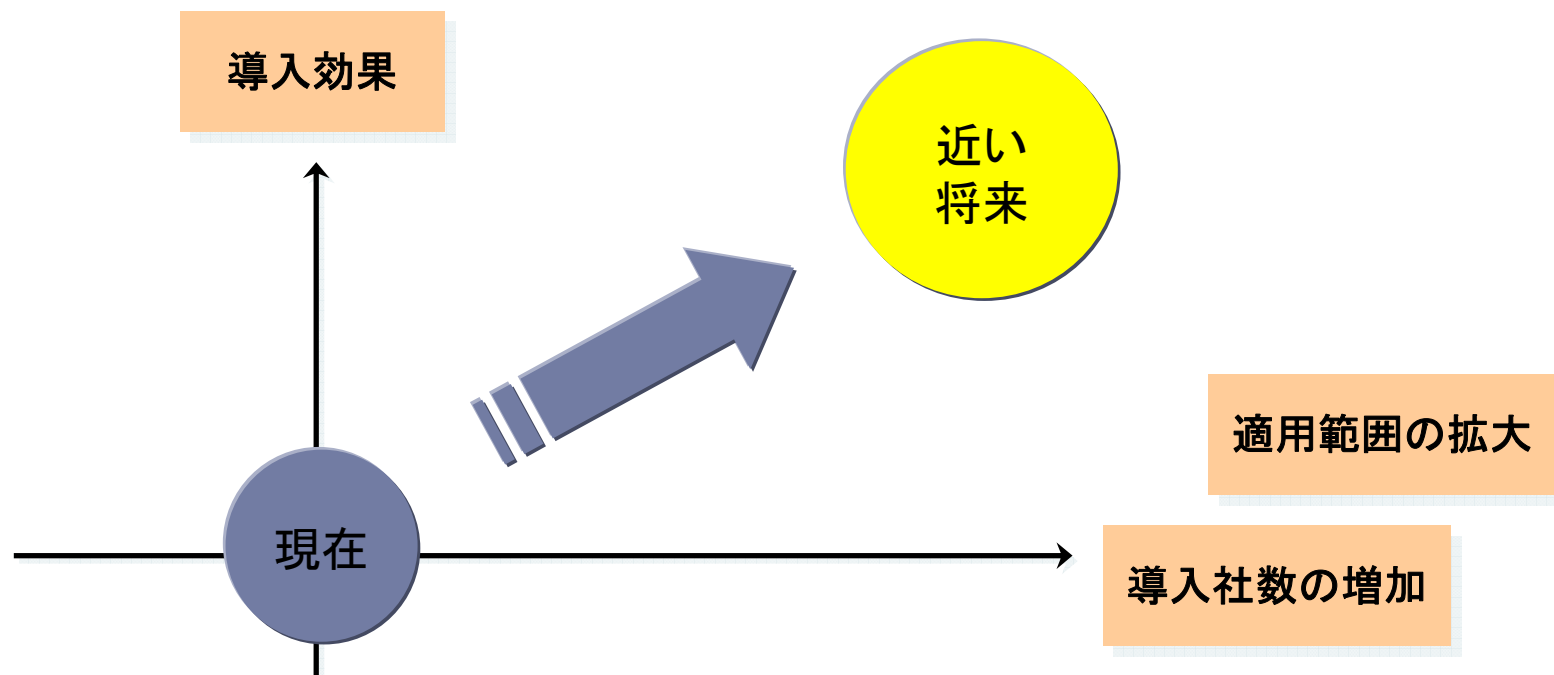
店舗
(会員生協仕入)

請求先、会員
生協のデータ
を送信？

店舗共同化部
門の発注開始

店舗は受領訂
正が必要？
バージョンは？

7.まとめ



広がれば、ひろがるだけ

広げれば、ひろげるだけ

導入効果が期待できる流通BMSを積極的にすすめていきたいと思っています。